

# 大連事務所だより

公益社団法人宮城県国際経済振興協会  
大連事務所  
116001 遼寧省大連市中山区人民路 15 号  
国際金融大廈 13 層 C

No. 3 1 平成 29 年 6 月 30 日 発行

問合わせ先

目次	主な事業内容	1
	事務所トピックス	1
	大連ニュース	3
	中国現地情報	4

TEL : 86-411-8250-7426  
FAX : 86-411-8250-7439  
E-mail : gb-dalian@miyagi-dalian.com  
URL : http://miyagi-dalian.com

## 2017(平成29)年度を迎えて

平素より、宮城県国際経済振興協会の中国事業に対しまして御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたびの人事異動により4月に大連事務所長として着任いたしました。今後ともどうぞよろしく申し上げます。  
大連事務所は設立から13年目を迎えました。今年度も宮城県と中国とをつなぐ役割を果たすべく、さまざまな事業を展開してまいります。引き続き皆さまからの御支援、御協力をよろしく申し上げます。

宮城県大連事務所長 林 香

## 主な事業内容

2017(平成29)年3月から6月まで実施した主な事業を紹介します。

＝3月＝

- ・大連旅行社セミナー・商談会参加(大連)

＝4月＝

- ・新所長就任(大連)
- ・上海高島屋物産展参加(上海)
- ・県空港臨空地域課長 大連市政府訪問(大連)

＝5月＝

- ・吉林省外事弁・長春市外事弁訪問(長春)
- ・大連アカシア祭り・中日観光ハイレベルフォーラム参加(大連)
- ・七十七銀行支店長研修団来所(大連)

＝6月＝

- ・自由貿易試験区大連エリア視察(大連)

また、次のような活動を行いました。

- 中国現地企業や関係機関等の訪問、来所対応
- 県内企業・団体のニーズ調査や情報収集提供
- 中国との交流促進のための資料翻訳や内容確認などの支援
- 労務関係などに関するセミナーへの参加

## 事務所トピックス

事業内容からトピックを4つ紹介します。

### トピック1

#### 上海高島屋 北海道・東北物産展に参加

3月31日(金)から4月10日(月)まで上海市にある高島屋百貨店において、「2017北海道・東北物産展」が開催されました。

4月8日(土)、9日(日)には、日本文化体験イベントとして、宮城の伝統こけしの絵付け体験が行われ、宮城県から弥次郎こけし業協同組合の新山理事長においでいただき、こけしの絵付けの指導をしていただきました。

当日は御家族連れなど大勢のお客さまが参加され、準備したこけしが足りなくなるほどの賑わいでした。

理事長の指導のもと、皆さん真剣な様子で絵付けに取り組み、思い思いのこけしを作り上げていました。

上海の皆さんに宮城の伝統文化に触れていただくことができた二日間となりました。

また、物産展の期間中、会場内のPRコーナーに七夕飾りを展示し、来場者に観光パンフレット

やPRグッズを配布し、宮城県の魅力を紹介しました。



こけしの絵付け体験の様子



新山理事長と絵付けが完成したこけし



会場内のPRコーナー

## トピック2

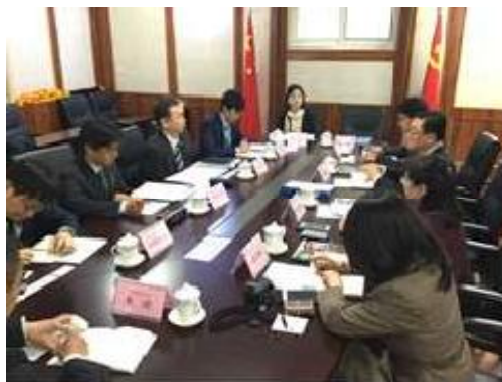
### 県空港臨空地域課長 大連市政府を訪問

運休となっている仙台―大連・北京便の再開に向け、4月17日（月）に県空港臨空地域課の籠目勇一課長が大連市政府外事弁公室主任と面会し、宮城県知事から大連市長にあてた親書を手渡しました。

仙台―大連・北京便は中国国際航空により1994年に就航し、もっとも多いときには週3便で運行していましたが、2011年の東日本大震災

の後休止となり、1年後の2012年3月に一時運航を再開しましたが、同年10月から再び運休となっています。

現在、県では仙台国際空港(株)と連携し、大連・北京便の運航の再開に向けて取り組んでいます。経済活動の促進や観光客誘致のためには直行便の就航はとても重要です。宮城県と大連市との交流をますます発展させていくため、仙台―大連・北京便の早期再開が期待されています。



県空港臨空地域課長による大連市政府訪問

## トピック3

### 大連アカシア祭り・中日観光ハイレベルフォーラム 県国際経済・観光局長が出席

第28回大連アカシア祭りの開幕に併せて、5月22日（月）、23日（火）に大連フラマホテルを会場に「中日観光大連ハイレベルフォーラム」が開催されました。

このフォーラムは、日本と中国の相互交流の拡大に向け、両国が一体となって観光モデルを構築していくことを目指すもので、今年で2回目となります。

フォーラムには両国の政府や自治体の関係者、学識経験者、観光事業者などが参加し、さまざまな立場から観光交流の拡大に向けた方策について話し合いました。



フォーラム会場

宮城県からは高砂義行国際経済・観光局長が出席し、宮城の概要や観光資源について紹介し、交流の促進を呼びかけました。



会場における自治体紹介パネル



高砂局長による宮城県の紹介の様子

また、同じく22日（月）に労働公園で行われた「アカシア祭り・ジャパンデー」において、宮城県を紹介する観光パンフレットの配布を行い、大連の皆さんに宮城の魅力をアピールしました。



労働公園と宮城を紹介するパンフレット

#### トピック4

#### 七十七銀行支店長海外研修団 来所

5月23日（火）から25日（木）まで七十七銀行支店長海外研修団の皆さんが大連での研修を実施されました。

一行は21日（日）からの上海での研修の後、23日（火）に大連に移動。大連では、宮城県に關係する企業などを視察し、その後大連事務所に来所されました。

大連事務所では、研修団の皆さんに事務所の業務や大連市の概要をDVDや資料を用いながら説明し、大連についての理解を深めるためのお手伝いをさせていただきました。



七十七銀行支店長研修団の皆さん

## 大 連 ニ ュ ー ス

#### 遼寧自由貿易試験区大連エリア区の指定

昨年8月に中国に新たに7か所の自由貿易試験区が指定され、今年3月にその具体的な方針が公表されました。

自由貿易試験区は、税制優遇措置や規制緩和によって中国のさらなる経済発展を支えとともに、国際的な貿易ルールの流れに乗るための基盤となるものとして、2013年にまず上海市が政府から指定を受け、翌年には天津市、福建省、広東省が指定を受けました。

このたび新たに指定された7か所のうちのひとつが遼寧自由貿易試験区で、大連エリア、瀋陽エリア、営口エリアの3地区があり、中国東北部の旧工業地帯の総合的な競争力の強化と対外開放を進

めるための起爆剤となるものと位置付けられています。

これにより世界貿易における大連の重要性がさらに増すとともに、日本との経済交流が一層拡大するものと期待されます。



瀋陽自由貿易試験区大連エリアの模型



手続きのワンストップ化を図る総合サービスセンター

## 中国現地情報

### 中国の新しい四大発明（1）

古代中国には当時の中国の先進性を示す「四大発明」というものがあります。「羅針盤」、「火薬」、「紙」、そして「印刷」です。これらの四つの発明は中国だけでなく世界にも大きな進化をもたらしました。

時が流れ、21世紀となった現在、中国に暮らす外国人が選んだ中国の新たな「四大発明」があります。旧「四大発明」と同じく世界に多大な影響を与えています。それは、「電子決済」、「ネット通販」、「高速鉄道」と「共享自転車」です。今

回はこの新しい「四大発明」から二つを御紹介します。

まずは「電子決済」です。

5年前まで、中国ではまだ財布を持ちながら買い物をしている姿が一般的でしたが、今では財布を持ち歩いている人はほとんどいません。みんな電子決済を活用しています。電子決済では、個人口座からの支払いだけでなく、口座への受け取りも可能なので、大型スーパーや百貨店をはじめ、コンビニ、タクシー、市場の個人商店でも電子決済用QRコードが張られて、消費者は「ピー」とコードをスキャンすれば、支払い済みとなります。

統計によると、2016年の年間電子決済金額は57兆元、これは2015年の11.9兆元の5倍という膨大な成長ですが、2017年は第一四半期だけでも前年の3分の1を超えた22.7兆元となりました。このままいくと、2017年の年間決済金額は98.7兆元、約14.5兆ドル（1ドル=6.7元換算）となる見込みで、これはフィリピンの2016年のGDPよりも高い金額となります。

次に「ネット通販」です。「電子決済」の発展とともに「ネット通販」は大きく拡大しました。

統計によると、電子決済額のうちネット通販のシェアは23%前後で、その金額は13.1兆元という大規模な市場ですが、これはあくまでも表に出ているもので、その裏には物流運送、倉庫保管、配達搬送などの複数の関連業界が同時に動いています。

2015年のネット通販関連従業員数は2千万人を超え、うちネット通販に直接従事する者は、250万を超えていると言われています。ネット通販の拡大は、中国の過剰労働力の問題の解決への大きな力ともなっています。

#### 編集後記

20年ぶりの大連。その発展の様子には、驚きのあまり言葉もありません。

今のところ、このスピードに追いつくだけで精一杯ですが、自分がこの地でできることを一つ一つ見つけていきたいと思っています。

(L X)